

平成 29 年 2 月 3 日

**公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク
運営委員会議事録（2 月期）**

【出席者】（敬称略）

濱田、石丸、岡部、沖津、片桐、木村、葉木、森、事務局天寺
澤野委員長、森村会長補佐

1. 濱田代表理事 挨拶

1 月 23 日座間市災害対応訓練を実施した。座間市は秋田県大仙市と災害支援協定を結んでいる。訓練で座間市から応援要請を無線で行う予定だったが、当日、大仙市は大雪で混線して繋がらなかった。急遽、有線電話に切り替えて実施した。教訓は、やってみないと何が起こるかわからない。やってみることが重要だと感じた。午後からは災害 VC 開設訓練を実施。3 日後からの想定で、初めて市長が視察した。訓練は、毎年テーマを決めて、内容を深めていくこと、継続していくことが重要である。

2. 推進委員会澤野委員長 委員会報告

添付資料「事業報告と今後の予定」のとおり。

3. 公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワークからの報告

添付資料「運営委員会議事」のとおり。

- 第 4 回定時社員総会の日程と議案の確認を行った。運営委員の集合は 12 時 30 分。会場内にて LIFE「命を守る教科書」の頒布を行う。頒布価格 1500 円（税込み）
- 非常用炊出袋に関する運用指針を定めた
- 内閣府の立入検査が 3 月 15 日になった

4. 各地域の活動報告

今期より、事前に地区運営委員から月次活動報告と次月活動予定を事務局に提出。事務局が取りまとめて配付することとなった。

添付資料「2017 年 1 月活動報告・活動予定【千葉県】【横浜市】【埼玉県】」のとおり。

- 千葉県ネット活動報告会 1 月 21 日（土）・・・16 名参加。2016 年事業報告・2017 年事業計画・役員とも了承された。活動報告会後には、Sata-SEN 災害 V 版を古池 SL 主導で実施。
- 神奈川県ネット活動報告会 2 月 1 日（水）・・・21 名参加。県ネット活動として 3 つの柱（防災ギャザリング・柳島キャンプ場での野外訓練・四季の森防災フェア）を確認。県ネット予算は柳島キャンプ場に充てることで了解を得た。防災ギャザリングには社団から 5 万円の印刷費を計上している。
- 神奈川県教育総合センターにて教員 5 年経験者研修を受託。1 月 24,25,27,30 日の 4 日間、のべ 72 名の SL が担当し、DIG を実施した。受講した教員が学校に戻り、DIG が実施できるようにすることを目的として行った。アンケート結果では、十分に目的を達せた。
- 1/17～22 座間市では防災フェアを実施。4 日間で 650 名の来場者。子育てママが避難所に持って行く「物」を実物を展示し、重さを体感してもらった。

5. 専門部会についての意見交換

- 現行の専門部会は、参加者が限られ、広がりが無い。
- 2017年上半期（5月6月7月）を連続した研修会を企画。「オープンセミナー（仮称）」として、SL全体に広報し、新しいメンバーの掘り起こしを目的とする。なお、研修会は会費制とする。研修会会場は、千代田区公民館、もしくは、ちよだプラットフォームスクエアをかりる（費用は参加費を充てる）。
- 「情報交換会」は別途行う。テーマと報告者を決めて計画する（自主防災活動の事例紹介、など）。
- 今まで情報部会が企画することが多かった「見学会」は、社団全体に年3～4回企画・開催する。
- 次回の運営委員会に、各委員は「オープンセミナー（仮称）」の企画書を持参すること。

6. その他

【次回の開催日】 3月3日（金）13時30分～

***理事会 3月3日（金）10時00分～**

2017年1月の事業報告と今後の予定

(2月3日/災害救援ボランティア推進委員会委員長 澤野次郎)

1、防災とボランティアをめぐる情勢

1-1 社会全体(危機管理を中心に)

- ・ 1/26 ノロウイルス 10年ぶりの大流行 全国で警報レベル
- ・ 1/27 鳥インフルエンザ 18道府県 186件
- ・ 1/27 インフルエンザ流行(1/16-1/22)
- ・ 2/5 千代田区長選挙投票日

1-2 災害,大規模事故分野

国内 ア 地震(気象庁発表で震度5強以上,首都圏は震度4以上、M7以上)

日時	震央	M	深さ	最大	場所
・ 12/28 21:53	茨城県北部	6.3	11 km	6弱	高萩市

イ 風水害(内閣府の災害情報掲載を主に対象)

- ・ 1月23日からの大雪による被害状況等

ウ 事故等

- ・ 12/30 系魚川大火に被災者生活再建支援法適用

海外 ア 地震(USGC発表、日付は現地、M7以上又は報道等で犠牲者多数)

・ 1/10	比ミンダナオ島南方	7.3	612.7 km
・ 1/22	ソロモン諸島沖	7.9	136.0 km

イ 自然災害

- ・ 1/10 欧州大寒波 モスクワ マイナス 29.9 (126年ぶり)

ウ 事故等

1-3 防災行政等の動き

ア 政府

[内閣府]

- ・ 12/26 「避難指示」「避難準備情報」の名称変更について

[気象庁]

[文部省]

イ 自治体

- ・ 1/17 阪神・淡路大震災 22年

ウ 被災地状況

東日本大震災

- ・ 2/2 [福島原発2号機調査] 格納容器で高い放射線量 推定
専門家指摘「溶融燃料が水につかっている可能性」

熊本地震

- ・ 2/2 県庁発表 死者 50人、関連死 143人、豪雨関連死 5人
- ・ 1/31 復興庁 避難・転居者数 12万6943人 前月比 - 3,797人 1/16付

1-4 災害ボランティア等の動き

- ・ 2/19 内閣府/防災とボランティアのつどい in くまもと

1-5 注目すべきメディアと書籍等

ア TV [NHK]

- ・1/9 それでも生きようとした～原発事故から5年・福島からの報告～
- ・1/14 MEGA CRISIS 第3集 ウィルス大感染時代～忍び寄るパンデミック～
- ・1/17 女たちの大震災～最新医療が迫る 体と心のリスク～
- ・1/22 MEGA CRISIS 第4集 地震大火災があなたを襲う

イ 書籍 新刊

2、この間の主な活動と今後の予定

2-1 基盤としての総合的な災害ボランティア活動

A、災害ボランティアリーダー養成事業

ア 全体的な到達点

- ・S L 講座 9,481人 公認講座 2,230人* 計 11,711人 1/31 現在

イ 本部主催のS L養成事業

- ・[予定] 首都圏100期立教 2/23-24,3/3
- ・[予定] 神奈川講座 相模原県央 3/1-2

ウ 大学等受託のS L養成事業

エ 災害ボランティアリーダー等養成事業

- ・[報告] JBU 第13期 中コース:神戸 1/20-21 西コース:山口 1/27-28

オ 講座改革

B、防災/減災啓発推進事業

ア 本部等主催の防災啓発推進事業

イ 本部受託等の事業(委員長講演分)

- ・[報告]1/19 千葉県災害対策コーディネータースキルアップ講座
- ・[報告]1/28 こだいら地域防災フォーラム

ウ 他主催の事業への協力

エ 他主催の事業情報

C、S Lネットワーク/災害ボランティア活動報告

ア 会議等

- ・[予定]3/25 総会

イ 全体報告

- ・[報告]神奈川県教育委員会受託、教員5年研修 1/24-25-27-30
- ・[検査]3/15 内閣府立ち入り検査

2-2 総合的な防災事業

A、シェイクアウト事業(防災訓練事業)

ア 到達点 2016年 累計約632万人、世界で5580万人

- ・[報告]1/23 ざまシェイクアウト

イ 重要 気象庁、内閣府、消防庁連携

B、防災教育推進事業

ア 防災教育チャレンジプラン(内閣府共催)事業

- ・ [報告]2/18 最終報告会
- イ 防災教育普及事業
- ウ 学校・団体等防災教育推進事業
 - ・ [各地]学校での防災教育支援

C、被災者生活再建支援事業

D、防災研究事業

- ・ [報告]1/23-24 災害対応研究会(神戸)
- ・ [予定]2/14 防災科研成果報告会
- ・ [予定]2/27 都市減災 P サブプロ 3 最終報告会

3、事務局等

- A、広報 ・ ニュースレター 発行日の明確化 隔月 25 日

以上

公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク
運営委員会 議事

1 理事会報告事項

1.1 第 4 回定時社員総会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項

日時：2017 年（平成 29 年）3 月 25 日（土） 13 時 00 分～ （会場は 16 時まで予約）

場所：市ヶ谷 TKP カンファレンスセンター カンファレンス 6A

議事案：【承認事項】2016 年収支決算報告、2017 年収支予算案、2017 年事業計画案

【報告事項】2016 年事業報告

タイムテーブル：

12:30	運営委員集合・会議室設営準備	
13:00	受付開始	
13:15～13:50	第 1 部 第 4 回定時社員総会開会	進行:仁藤 議長:濱田、報告:天寺
13:50～14:00	東京ネット紹介	市川 SL
14:00～14:10	休憩	プロジェクター、PC 設置
14:10～15:40	第 2 部 防災講演会 「生活再建への道のり～法律とお金の実際のお話」(仮) 講師:岡本正 弁護士	
16:00	退室・解散	

* 会場内にて LIFE「命を守る教科書」を頒布

一般販売価格：2000 円（2160 円） 仕入れ値：1300 円（1404 円）

SL 頒布価格：1500 円（税込み） 96 円を社団の手数料として計上

1.2 2016 年（平成 28 年）活動報告書（案）

添付「活動報告書」…3月理事会にて承認を受ける予定

1.3 その他

- 指針_非常用炊出袋に関する運用指針について
- 監査：3月1日（水）10:30～ 水島監事、菅監事
- 内閣府立入調査：3月15日（水）

2 各県ネット活動報告会について（各県ネットから報告）

千葉県ネット=1月21日（土）13:00～ 船橋市西部公民館
 神奈川県ネット=2月1日（水）19:00～ かながわ県民センター
 埼玉県ネット=2月23日（木）

2.1 運営委員会の地域報告について

別添、「月次報告・予定表」

2.2 専門部会についての意見交換

別添・葉木 SL「部会の発展的再構築に向けての意見書」

3 次回運営委員会

2017年3月3日（金）13時30分～

以上

3部会の部会の発展的再構築に向けてのご意見を？

（H29/3/25 総会時提案予定）

H29/1/13 1/14 追加 福祉部会 葉木

今まで、3部会制で行って来たが

- ・参加者が硬直化している（新規参加者が少ない、いない）
- ・SL-Aのメンバしか参加できない
- ・内容も、部会特有の内容とは離れたものとなっている場合もある
- ・本当に部会で良いのか？

別の切口で、全面見直しし、参加者を増やす必要があるのでは？
 などの意見があり、平成29年度前半に見直そうという話がある。

そこで、部会を発展的に再構築したい

運営は、今までとは異なり、会員による、自発的・自主運営とする

SL なら参加可能

但し、連絡作業低減のため、PC メールを持っている SL のみとする。郵送はなし。
新しい会の全体調整は、運営委員会でやる。

何を行うか

地域密着の問題点、調査、地域へのフィードバック

1戸建・マンション災害関係の問題点、調査、フィードバック

各種イベントの企画・立案・推進 など

会の性格は

勉強会的なもの、情報交換的なもの、研究会的なもの、企画型のもの

開催日、場所、頻度、会費の有無、推進者、幹事は? など

[意見] (具体的ではないが?)

地震・津波の知識は知っている。地域にどう活かすかが問題では?

SL は地域に溶け込んでいるか? どう溶け込むか?

地域への発信をどのように行うか?

他の地域への発信は?

要支援者の公開レベルは?

DIG/HUG の有効性は?

行政/自治会組織/防災ボランティアのお互いの関わり方は?

地域のリーダーになって欲しい?

避難所倉庫内の備品の扱いを知っているか?

➡ 結果の横展開を

自分はどのような特技を持っているか?

会議は、継続して行っていくことに意義がある。